＜様式９-１＞

|  |  |
| --- | --- |
| 採用年度 | 平成　　年度 |
| 資　　格 | SPD PD RPD DC2 DC1 |
| 領　　域 |  |
| 受付番号 |  |

特別研究員研究報告書

（採用第　年度目の報告）

平成　　　年　　　月　　　日

独立行政法人日本学術振興会理事長　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 特別研究員

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　フリガナ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　登　録　名

１．研究課題

２．採用期間　平成　　年　　月　　日　～　平成　　年　　月　　日

【採用期間終了・辞退の方は、以下についても確認してください。】

３．学位取得状況(DCのみ）　博士（　　　　）　平成　　年　　月　　日授与　　授与大学（　　　　　）

４．採用期間終了（又は辞退）後の連絡先（住所は国内に限る）

本様式を【研究報告書等電子受付用システム】で提出する際にシステム上で確認・登録してください。※

※採用終了時源泉徴収票の送付先等になりますので、必ず確認し、変更がある場合は変更後の連絡先を登録してください。

５．受入研究者の評価

|  |
| --- |
| 特別研究員の研究進捗状況について、次のいずれかをチェックし、評価を記入してください。 |
| □ 期待以上の研究の進展があった 　　　　　　□ 期待通り研究が進展した  □ 期待ほどではないがある程度の進展はあった □ その他（ 　 ） |
| 【評価】※当該年度における研究への取組、研究成果について具体的に評価してください |
| 受入研究者所属機関・部局・職  印  氏　　　　　　　　　名 |

　※「５．受入研究者の評価」は、受入研究者が記入し、署名欄は必ず押印してください。（受入研究者が自署した場合でも、押印の省略は不可とします。）

（注） ① 毎年4月20日（採用終了、中途辞退の場合は、終了日、辞退日から20日以内）までに【研究報告書等電子受付用ｼｽﾃﾑ】

で提出してください。（ﾌﾟﾘﾝﾄｱｳﾄ・受入研究者が押印のうえ、ｽｷｬﾅｰでPDFﾌｧｲﾙに変換し、ｼｽﾃﾑ上でｱｯﾌﾟﾛｰﾄﾞ願います。）

　 ② 【研究報告書等電子受付用システム】で提出の場合には、特別研究員の押印は省略可とします。

６．研究実施状況

※本欄に書ききれない場合、ページを追加しても差し支えありません。

７．研　究　発　表（今年度中に発表したもの又は、受理されたもの）

|  |  |
| --- | --- |
| （1）学会誌等への発表 | |
| 番号 | 著者、発表論文名、学会誌名、発表年月巻号等 |
|  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| （2）学会発表　（国内・国外における発表を区別して記入してください。） | |
| 番号 | 学会名、発表題目名、口頭・ポスター等の形式、発表年月日等 |
|  | 【国内】 |
|  | 【国外】 |

|  |  |
| --- | --- |
| （3）受賞等 | |
| 番号 | 賞の名称、賞の授与団体、授与年月日等 |
|  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| （4）その他（新聞、雑誌等への記事掲載など）※掲載されたページについて、その写しを一緒に提出してください。 | |
| 番号 | 掲載媒体、タイトル、掲載年月日等 |
|  |  |

（注） ① 特に重要な論文または発表については、該当する番号に○印を付けてください。

　　　 ② （1）、（2）に記載しきれない場合は、ページを追加しても差し支えありません。  
また、記載するものが無い（少ない）場合は、今後投稿、発表予定のものを「予定」と明記して記載してください。

　　 ③ （1）、（2）の発行年、発表年は西暦で記入してください。

④ この頁にある内容が記載されていれば、他の用紙を使用しても差し支えありません。

８．海外渡航歴（該当者のみ）

（今年度にかかるすべての分について記入してください。ただし、1ヶ月以上の場合のみ）

・平成　　年　　月　　日　～　平成　　年　　月　　日

（国・機関名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

・平成　　年　　月　　日　～　平成　　年　　月　　日

（国・機関名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

９．アウトリーチ活動の実施状況

１０．特別研究員制度についての意見・要望等

　　　　回答を要する質問等については、本会研究者養成課へ電話で

　　　問い合わせてください。